



安城市議会議員 石川つばさ通信 号外

市政レポート

市長選混沌

神谷市長 5 選挑戦を表明

開会中の 12 月議会で、神谷学市長が来年 2 月 3 日投票の安城市長選挙に出馬することを表明しました。4 日に行われた一般質問で二村守議員(安城創生会)の質問に答えたもので、5 期目に挑むこととなります。この日までに永田敦史市議(志)が立候補を表明しているほか、5 日には大見正衆議院議員(自由民主党)も立候補の意向を固めたと報道各社が報じました。17 日には立候補予定者説明会が開催され、選挙戦の構図がほぼ固まるものと思われまます。

一般論として、強大な執行権限を持つ市長と、議決を通じてそのチェック機能を担う市議会・市議会議員は一定の緊張関係(≠敵対関係)にあるべきです。その原則に照らせば、市議会議員が市長選挙に深入りしすぎることは慎重であるべきと言えます。反面、市議会議員による政策提言の成否は、市長の政治姿勢に左右されるところが大きいのも事実です。市長がより政策的に近く、聞く耳を持つ人物であれば政策は実現しやすくなり、そうでなければ実現しにくくなります。こうした点を勘案すれば、市長選に一切関わらないというのも現実的ではありません。

選択肢の多い市議会議員選挙や参議院比例選挙と違い、市長選挙は 1 人を選ぶ選挙です。自分の考えとピタリと合う候補者に巡り合う可能性は低く、候補者の一長一短を吟味した上で、重視すべきテーマを自分の中で決めることが大切だと考えます。

私自身は個別の政策以前に、「情報公開」や「言論」といった民主的価値観を共有できるか否かという点を重視したいと思います。こうした価値観が共有できなければ、十分な情報が得られず、正面から論戦をすることもできず、延いては政策実現も難しくなります。今後、こうした価値観に最も親和性が高いのは誰なのかを判断した上で、対応を決めることとなります。

石川翼事務所 446-0072 安城市住吉町荒曾根 1-245 アワーズビル 2F 南
電話 0566-98-6932 メール ishikawa2011@aria.ocn.ne.jp

編集: 石川つばさを支援する会